

## ～今年、受験生の君たちへ「僕だって…合格したかった」～

僕は2年前、受験に失敗しました。家の事情で公立は一校しか受験しなかったので、不合格だった時は本当にショックでした。でも高校にはどうしても行きたい。それで公立の二次募集の出願に行きました。

卒業式の前の日のことです。卒業式の日に進路先が決まっていなかった人たちはクラスで僕以外に2人いましたが、他のクラスには1人もいませんでした。他のクラスは卒業式で男子も女子もたくさんの人が泣いて別れを惜んでいましたが、僕のクラスはこれからまだ受験をする3人のことを気遣ってか、朝からシーンとしています。この静けさは、公立高校発表日からずっと僕のクラスで続いています。「時を戻すことができたなら」と、どれくらい願ったことでしょう。僕は、今のクラスが大好きでした。男子も女子も仲良く、行事があると盛り上がって、授業中のおしゃべりも多少はありましたが、みんな進路を真剣に考えてどの授業もしっかり受けていました。

しかし、1月に私立第一志望組が合格を果たし、2月初めに公立前期入試で多くの合格者が出てからクラスの雰囲気ガラッと変わりました。朝自習や授業で合格した人たちの私語が多くなり、これまでのように集中して学習に取り組めない日々。自宅に帰っても、クラスの合格した人の受験が終わった喜びに満ちたメールが毎日山ほど来るので、返信に時間かかるようになりました。公立後期試験が近づいてきたので、多少焦ってきた時も返信をしないと翌日文言を言われることもあり、自宅での学習がままならない状況になっていました。クラスは長かった受験が終わった喜びに満ち、まだ受験が終わっていない人がいることに気づかないようでした。7月に部活動を引退してから志望校にどうしても行きたくて、がむしゃらに勉強した夏休み。11月に三者面談があったときは、これまでの試験の成績をもとに先生から「これぐらいの力があれば、前期入試で受からなくても後期入試で合格できるかもしれないね」って言われたので、僕もほんとに嬉しくて冬休みもさらにかんばりました。それなのに合格した人たちが、必死になって学習しようという雰囲気を壊した。

2月初めからのたった3週間。7月からあれだけ頑張ったのに、たった最後の3週間で、僕は同じ高校を目指す他のライバルたちに敗れたのでした。クラスの仲間は、僕たち3人が不合格になってしまった責任を感じているようです。自分が一番悪いことわかっているのに、僕は不合格になった時クラスの仲間を恨みました。大好きなクラスだったのに、「このクラスでなければ、僕はギリギリまで頑張って勉強して、きっと合格できただろうに」と思うと、悔しくて仕方ありません。公立後期入試の発表で僕の名前がなかったときの絶望感…僕はこの日のことを忘れることはないと思います。

その日から卒業式までは1週間でした。クラスは僕たちに気遣って、高校の話もしなくなりました。僕はそれを感じたとき、本当に惨めな気持ちでした。その後、僕は二次募集で何とか合格でき高校生にはなりましたが、もちろん行きたい高校ではなく3年生になるというのに、自分の学校に対する誇りや愛着を感じていません。

受験は、合格不合格に分かれます。受験で失敗したことを、今でも気持ちを切り替えられないのはなぜでしょうか。それは「僕が思ってることを口にしないまま」だったからです。



僕は、本当は言いたかったのです!!合格した友人が朝学習や自習が多くなった2月の授業でずっとおしゃべりをしていた時も、「遊ぼう」と誘われた時も、メールが1日に何度もあった時も。「僕は、まだ受験が終わってないんだ!君たちは自分の受験が終わったら、それで終わりなのか!?僕だって…合格したいんだ!!」と。何度、言おうと思ったかわかりません。でも、じっと我慢して結局は言わずに終わってしまいました。でも、あの時自分の気持ちを言っていれば、きっとクラスのみんなは学級全体が合格できるようにと応援してくれたのではないかと思います。そうすれば違った結果になっていたかもしれない。そうしたら、たとえ不合格でも「自分はできるだけのことをやった」と納得できたと思うのです。

今回、母校の中学校から「受験の先輩から、後輩の皆に伝えたい事」として、何か書いて欲しいと言う依頼を受け、僕の受験に関しての苦い思い出を書き綴りました。僕の受験の失敗が少しでも役に立てば良いと考えたからです。この時期だからこそ、僕は皆さんに考えて欲しい。あなたがまだ志望校に合格しないときに、自分が合格したからといって自分勝手にはしゃぎ、毎日いい加減な生活を知人に対し、どんな気持ちになりますか。